

# ぐんま県境稜線トレイル活用促進協議会総会 議事録

## 1 日時

令和元年7月1日 10:00開会 10:49閉会

## 2 場所

県庁7階 審議会室

## 3 出席者（役員）

39名中 32名出席（過半数以上の参加により本総会は有効に成立）

## 4 議事

### (1) 報告事項

- ① 役員の追加について
- ② 平成30年度事業報告について

### (2) 協議事項

- ① 令和元年度事業計画（案）について
  - ② 令和元年度予算（案）について
- } 原案のとおり承認

※説明者…スポーツプロジェクト推進室長

10:04	・ 報告事項①役員の追加について及び報告事項②平成30年度事業報告について、事務局より説明
【質疑】	なし
10:10	・ 協議事項①令和元年度事業計画（案）について及び協議事項②令和元年度予算（案）について、事務局より一括して説明
【意見・要望】	●中之条町長 安全対策は不可欠なもの。是非これからも力を入れて取り組んでいただきたい。 未開通であった三坂峠から白砂山の間が開通し、避難小屋の設置、野反湖の入口での啓発など安全対策に取り組んでいただけるとのこ

とであるが、このトレイルで死亡事故や大きな事故を発生させないための対策を進めて、日本一のトレイルになることを祈念したい。

難所である三坂峠から白砂山間のエスケープルートの整備について検討してもらいたい。

### ○スポーツプロジェクト推進室長

エスケープルートの整備については山中でもあり、簡単にはいかないと認識しているが、しっかりと研究していきたい。

三坂峠ー白砂山間については、まずはエスケープルートがない上級者向けのコースであることをしっかりと情報発信し、周知を図っていきたい。

### ○大澤知事

事務局にはご意見をしっかりと受け止めて、調整を図ってもらいたい。

---

### ●嬭恋村長

安全対策に万全を期してほしい。白根山の関係では、草津町と協力し、地域の安全確保を図っていく。また、万座を中心として、警察関係では中野市との連携体制が確立しており、消防関係についても吾妻広域消防本部と長野方面の消防本部の連携状況について、再確認したところである。

#### (要望事項)

- ①衛星電話の整備について検討してはどうか。
- ②万座しぜん情報館でも安全登山情報の啓発を実施してもらいたい。
- ③インバウンドの誘客ができるよう、中長期的な体制整備を進めてほしい。

### ○スポーツプロジェクト推進室長

- ①ご意見を踏まえ、今後よく研究していきたい。
- ②役場との連携も含め、今後調整させていただきたい。
- ③現在は英語版のパンフレットを作成し、情報発信を行っている。

安全面の周知に課題もあるが、観光局と相談しながら誘客に向けた体制づくりについても考えていきたい。

### ○大澤知事

しぜん情報館を訪問したことがあるが非常に有意義な施設。有効に活用されるとよいと思う。

---

### ●草津副町長

ロングトレイルの趣旨の中の「道を歩きながら地域と触れ合う、

人と触れ合う」という点を見ると、草津温泉にとってもありがたいものであると感じている。温泉地から様々な登山道にアプローチができるという点から、草津温泉がベースキャンプになる可能性を秘めていると考えている。

アメリカではトレイルエンジェルというボランティアが宿泊や食事の手配・相談を行うと聞いている。草津温泉がそのような役割で貢献できるのではないかと考えている。

草津町としても県の取組に歩調を合わせて取り組み、誘客数の増加を期待している。

### ○大澤知事

草津町の温泉にプラスする1つの観光の魅力として、稜線トレイルを是非活用していただきたい。

---

### ●みなかみ副町長

みなかみ町では以前から谷川岳の自然を守り、活用しながら、エコツーリズムの取組を進め、観光振興を図ってきた。そうした活動が評価され、一昨年にはユネスコエコパークに登録されたところである。

県境稜線トレイルはユネスコエコパークの具体的な取組の一つとして位置付けられている。町としても、隣接した町村と連携しながら、稜線トレイルを新たな観光資源として積極的に活用していきたいと考えている。

今後、稜線トレイルが国内、そして世界の方に認められ、地域の活性化に繋がるよう、町としても貢献したいと考えている。

---

### ●中之条町観光協会長

大澤知事におかれては、観光に力を入れていただき感謝している。また、すばらしい稜線トレイルを整備していただきありがたい。

中之条町でも先日スパトレイル四万というイベントを開催した。昨年に比べて300人も増え、1,450人ほどの参加があり、大変盛況だった。

観光も広域になり、色々な所と連携して取り組むのがトレンドとなっている。これから稜線トレイルを益々活用し、各地域とも連携して観光客を増やしていきたい。

来年はデスティネーションキャンペーンを控えている。山岳観光は外国の方に人気が高い。外国の方に向けても素晴らしい日本一の稜線トレイルをPRし、安全面にも十分に配慮しながら、温泉地に泊まり、トレイルを楽しむ仕掛けづくりをしていけば、多くの方に

楽しんでいただける素晴らしいものになると期待している。県としても、より整備を進めていただきたい。

### ○大澤知事

稜線トレイルは沿線沿いに温泉地が多々あり、そうした温泉地を活かすのも大きな目的の1つである。観光協会や町村の皆さんと連携して誘客数を増やしていければと思っている。

---

### ●県警察本部地域部長

稜線トレイルにおける安全・安心の確保について、関係者との連携強化を更に図っていきたいと考えている。

新たな事象発生時の情報提供については、スピード感を持ってお知らせいただければと思う。

---

### ●利根沼田広域消防本部消防長

私たちが出動する機会がないことを祈っているが、万が一出動する際には全力を持って対応する。

---

### ●吾妻広域消防本部消防長

関係機関と連携強化して、万が一の時に一刻も早く安全に救助に駆けつけられる体制を、皆さまの力を借りて築き上げたいと考えている。

---

### ●県山岳団体連絡協議会長

稜線トレイルが整備されて1年を迎える。入山者をカウントするシステムもなく、どのくらいの人が歩いているのかも分からない状況であるが、県内はもとより、全国の登山者に知られるようになることを望んでいる。

登山者としてはトレイルの整備がされることはありがたいことで感謝しているが、多くの登山愛好者に利活用してもらうために、いくつかの課題があると感じている。

#### (課題と考えている事項)

- ①入山者が少なければ登山道はあっという間に藪に戻ってしまうため、継続的な整備が必要である。我々登山関係者も協力は惜しまないが、大変な作業であることは間違いない。
- ②指導標等も豪雪・多雪地帯であるため頑丈なものにする必要がある。
- ③水場は少なく、トイレも100km超のルート上に数カ所しかない。インバウンドにおいてもトイレは重要な問題。現在の登山者

は山中での排泄に不慣れ。また、女性に敬遠されると登山コースとしては痛手が大きい。

- ④登山道までのアプローチが悪いことも大きな課題。日本山岳会が開通直前に踏破した際も、6区間延べ70時間のリレー踏査方式で実施した。登山口まで仲間が車で送り、下山口まで車で迎えに行く方式での実行だった。アプローチの問題が解決しないと登山者は集まらない。

自家用車の回送サービスの導入や、ツアー、グループ登山の推奨等により改善を図ることができるのではないか。現在の登山者は上級者でもアプローチの悪いところには足が向かない。

このような課題を解決することがまず先決。これだけの景観と、麓には観光地・温泉がある県境稜線トレイルがより多く利用されるために、我々関係者が守り、育てていくという気持ちで連携して取り組んでいく必要があると思う。

### ○大澤知事

ご指摘いただいた課題について、まさにその通りだと思う。我々が想像している以上に難コースであるということを入念に入れて、今後、稜線トレイルをどのような形で活かしていくか、皆さんにご指導いただきながら、県と地元がしっかり連携して、コース整備やアプローチ問題等に取り組んでいかなければならないと強く感じている。しっかりと取り組んでいくので、引き続きご指導をお願いしたい。

---

### ●キャニオンズ代表取締役

コンパスの英語版が壊れていて英語で登山届が出せない。直せば有効なアプリだと思うので、対応をお願いしたい。

外国人はロングトレイルの場合、下山せずに連続で歩きたいという人が多い。予約できるキャンプサイトがあれば安心して海外からの団体やツアー等も受入れられると思う。そうした整備が進めばもっと使いやすくなると思う。

### ○スポーツプロジェクト推進室長

コンパスアプリは日本山岳ガイド協会が運用しているもの。いただいた情報は当方からもガイド協会に伝達する。

---

### ●県観光局長

インバウンドの関係について、昨年度は国内エージェントや旅行マスコミ向けのモニターツアーを実施した。

今年度及び来年度に向けては、外国人を案内するいわゆるランドオペレーターと呼ばれる事業者向けに、ハイキング程度の山登りと温泉等の観光を組み合わせたモニターツアー等を企画し、旅行商品の造成に繋げていきたいと考えている。

10:48

・協議事項①及び②について承認（賛成全員）

10:49

閉会